

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービスばーとなーキッズ神田瀬

支援プログラム（児童発達支援・放課後等デイサービス）

作成日

2025年

1月

4日

法人（事業所）理念		児童が日常生活における基本的動作を習得し、集団生活に適応することができるように、児童の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行う。										
支援方針		<p>○コミュニケーション能力の育成…人との関わり方や自分の気持ちや意見を伝えることを学び、集団生活において必要なコミュニケーション能力の育成に取り組む。</p> <p>○健康な体づくり…体を動かして活動することで体幹が鍛えられ、姿勢が良くなり集中力の向上を目指す。また、全身運動を通して、達成した時の喜びや、悔しい思いをした時の次の課題へ挑戦する意欲の向上等、精神面の安定にも繋げていく。</p> <p>○好奇心や冒険心を育む…お買い物体験や遠足、地域のイベント等の課外学習を通して、事業所の中だけでは体験できない学習を友だちや指導員と一緒に行うことで、好奇心や冒険心を育み、ソーシャルスキルの向上を図っていく。</p>										
営業時間		10 9	時	00 00	分から	18 17	時	00 00	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容												
本人 支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活スキルの獲得（着替え、手洗い、身だしなみ等） ・健康的な生活リズムを身に付けるサポート（睡眠、食事、排泄等） ・定期的な心身の把握（毎日の観察、個別活動、面談等） ・食育（季節の食材を使った手作りおやつ、クッキング等） 										
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢と運動、動作の基本的技能の向上（ビジョントレーニング、サーキット、トランポリン、ボルダリング等） ・保有する感覚の活用（トンネルくぐり、ボールプール、リズム遊び等） ・感覚の特性への対応（特性に応じた感覚導入、触覚・固有覚を特に意識した制作活動等） 										
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・小集団での活動や遊びの中で、適切な行動を習得する（認知の偏りに配慮する） ・危険認知スキルの向上（疑似体験、映像、SST等） ・こだわりや偏食に対応する ・空間、時間、数の概念など認知発達を促す環境設定（スケジュールや時間の視覚化等） 										
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や場面に合った言葉使い、人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 ・読み書きに対する学習支援 ・コミュニケーション手段の活用（絵カード、SST、発表する機会の提供、ロールプレイ等） 										
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・小集団や集団での遊びやゲームを通して人との関わり方や接し方を学ぶ ・自己理解、他者理解への支援（SST、社会体験、個別療育等） ・社会体験や地域交流の場を設ける 										
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・支援後のフィードバックや保護者面談を通じて利用児童の発達状況や支援のニーズの確認 ・子育てに関することや兄弟に関すること等の様々な不安や困りごとに寄り添い、相談や助言を行う 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な移行先との調整、相談援助、連携 ・学童クラブ等への移行支援 				
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所や障害福祉サービス事業所との連携 ・保育所や学校、併用利用先との情報共有 ・地域とのつながりの取組み（地域住民との関わり、地域イベントの参加等） 				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な療育会議、職員会議、活動会議等の実施 ・事業所内研修、事業所外研修への参加 				
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・季節の行事（お花見、夏まつり、ハロウィンパーティー、クリスマス会等） ・公園や近所散策、季節の制作 ・季節の食材を使ったクッキングやおやつ作りを通じた食育 ・お買い物体験、防災センター、工場見学等の課外活動 										